

令和2年度 学校経営の方針と重点

- 1) 校訓 「立志」・・・高い志を掲げ、学習し、心身を鍛える人間
- 2) 教育目標 学ぶ意欲にとみ 心豊かで たくましい生徒 (平成26年度改訂)
- 3) 努力目標 《知》見通しをもち、主体的に学習する生徒 (平成30年度一部改訂)
《徳》互いを思いやり、協力し合う生徒
《体》心身を鍛え、最後までやり抜く生徒

- 4) 学校経営の基本理念 **～すべては子供の成長のために～**
「子供の可能性を信じ、判断基準は『子供』とする」

5) 学校経営の方針

関連法規、学習指導要領及び解説、県・市教育委員会の指導の方針と重点、地域社会や生徒の実態並びに保護者・地域住民の願い等を踏まえて設定した教育目標達成を目指し、「キャリア教育」を柱に生徒に「自分を大切に思う気持ち」「夢と志」「ふるさと島守及びふるさと八戸への誇りと愛着」を育むとともに、これからの社会を生きるために必要な「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育の充実に努める。

- (1) 校訓「立志」を踏まえ、キャリア教育を柱とした教育活動の推進に努める。
(キャリア教育)
- (2) 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育活動の充実に努める。
(生きる力の育成)
- (3) 専門職として必要な資質と指導力の向上を目指した研修の充実に努める。
(研修の充実)
- (4) 学校間及び家庭・地域社会との連携・協同を深め、開かれた学校づくりに努める。
(開かれた学校づくり)

6) 学校経営の重点

(1) キャリア教育を柱とした「自分を大切に思う気持ち」「夢や志」「ふるさとへの誇りと愛着」を育む教育活動の推進

- ① 「キャリアプランニング能力」を重点としたキャリア教育全体計画及び各教科等との関連を図った年間指導計画に基づき、特別活動を要としたキャリア教育の推進
- ② 「自分を大切に思う気持ち」を育むため、生徒のよさや頑張りを認めてほめる指導と達成感や充実感を味わわせる教育活動の推進
- ③ 「夢や志」及び「ふるさとへの誇りと愛着」を育むため、島守地区の「人・もの・産業・歴史」等を活用した教育活動の推進

(2) 「確かな学力」を育む指導の充実

- ① 特別支援教育の視点を取り入れ「焦点化」を意識した授業づくりの充実
- ② 各教科等の「育成を目指す資質・能力」を明確にし、新学習指導要領移行措置を盛り込んだ年間指導計画の作成とその実践
- ③ 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」を定着させ、「主体的に学習に取り組む態度」を養うため、「主体的・対話的で深い学び」を意識した各教科の授業づくりの推進
- ④ 「自ら課題を見付け、よりよく解決する力」を育むため、探究的な学習の過程を意識し「主体的・対話的で深い学び」となるような総合的な学習の時間の授業づくりの推進
- ⑤ グループ学習やティーム・ティーチングなど、指導方法や指導体制を工夫した「個に応じた指導」の充実
- ⑥ 朝自習やこくぞうタイムを活用した補充的な指導の充実
- ⑦ よりよい学習習慣の形成を図るため、ねらいや方法について家庭及び小学校と共通理解を図った家庭学習の充実

(3) 「豊かな心」を育む指導の充実

- ① 「自主、自律、自由と責任」「向上心、個性の伸長」「郷土を愛する態度」を重点項目とし、道徳科を要とした道徳教育の充実
- ② いじめ防止を含む「よりよい人間関係の形成」と、「生活上の諸問題についての話し合い活動を通して合意形成や意思決定を図ること」を目指した学級活動の充実
- ③ 道徳教育との関連を図り、道徳的実践を意識した生徒会活動や学校行事の充実
- ④ 朝読書及び読書週間の設定と、学校図書館の積極的な利活用による読書指導の推進
- ⑤ 生徒の個性を尊重し、生徒一人一人の思いを大切にしたい生徒指導の充実

(4) 「健やかな体」を育む指導の充実

- ① 「柔軟性」を重点として体力の向上を目指した保健体育の授業の充実
- ② 心身の健康保持や健康管理に主体的に取り組む生徒の育成を目指した保健学習・保健指導の充実
- ③ 食育を含む「望ましい生活習慣の形成」を目指した指導の充実
- ④ 自分の命は自分で守ろうとする態度や能力を育てる防災・安全指導教育の充実
- ⑤ 自分自身の課題を見付け、自ら課題解決を図ろうとする生徒の育成を目指した部活動指導の推進

(5) 専門職としての資質と指導力の向上を目指した研修の充実

- ① 民主的風土のもとで、教科の壁を越えて互いに学び合う校内研修の充実
- ② 生徒の実態に基づいた指導を推進するため、諸調査の分析と指導計画等への活用
- ③ 研究主題に基づき生徒の課題解決につながる授業づくりを目指した校内研究の推進と、その成果を生かした日常の授業の充実
- ④ 「自分を大切に思う気持ち」を育む学級経営を充実させるための校内研修の充実
- ⑤ 新学習指導要領の理解及び学校課題の解決につながる校外研修への積極的参加

(6) 学校間の連携及び家庭・地域社会との連携による開かれた学校づくり

- ① 小学校との円滑な接続と児童生徒に共通する課題解決を目指した教職員の積極的な交流及び共同授業や合同授業の実施
- ② 高等学校等との円滑な接続を目指し、互いの指導内容や指導方法等の理解のための授業参観や学校行事への参加
- ③ 家庭・地域社会とのよりよい連携・協働を目指したPTA活動の推進と、地域行事への積極的な協力・参加
- ④ 保護者・地域住民や地域の諸団体と連携・協働した各教科等の授業や学校行事の実施
- ⑤ 保護者や地域住民への学校行事や授業などの積極的な公開
- ⑥ 学校だよりやブログ・配信メール等の利用による積極的な情報発信

7) 平成31年度学校目標

(1) 学校目標と学校目標設定の主たる理由

- ① 学校目標 **より高い目標を目指し学習や諸活動に主体的に取り組む生徒の育成**
- ② 学校目標設定の主たる理由

平成30年度は学校目標を「目標達成を目指して学習や諸活動に主体的に取り組む生徒の育成」とし、その具現化のための具体的な施策をもとに教職員が一体となって取り組んだ。2学期末に実施した学校評価アンケートは生徒・保護者からおおむね良好な結果であったが、「家庭学習に主体的に取り組む」については保護者・生徒・教師からの評価が低かった。また、2学期末に実施したキャリア教育アンケートの結果から、「見通しをもって計画的に進める」ことや「不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組む」ことにやや課題があることが明らかとなった。

そこで、今年度の学校目標を「より高い目標を目指し学習や諸活動に主体的に取り組む生徒の育成」とし、学校生活の中で「より高い目標目標をもたせるための取組」と「目標達成のために学習や諸活動に主体的に取り組ませるための取組」を工夫することで、課題解決を図りたい。

(2) 学校目標具現化のための具体的な施策

- ① **より高い目標をもたせるための取組**
 - ・ 生徒自身に自分の個性を理解させるための「諸調査の活用」と「話し合い活動の工夫」
 - ・ 「夢や志」の実現に向けてより高い目標をもたせるための「学級経営の工夫」
 - ・ より高い目標達成に向け具体的で実行可能な計画を作成させるための「計画表の工夫」
- ② **目標達成のために学習や諸活動に主体的に取り組ませるための取組**
 - ・ 主体的な学習活動を取り入れた各教科等の「授業づくりの推進」
 - ・ 生徒の発想を生かし、主体的な取組を大切にした「生徒会活動と学校行事の推進」
 - ・ 生徒が家庭学習に主体的に取り組めるような各教科及び学級での「学び方指導の工夫」

(3) 学校目標の達成の基準（評価基準）

- ・ 「めざす生徒像」を設定し、それに基づき学校評価アンケートを年2回実施する。生徒、保護者及び教職員からの肯定的な回答が80%以上で達成とする。

※ 「めざす生徒像」

- ① 諸調査の活用と仲間との話し合い活動をもとに自分の個性を理解している生徒
- ② 「夢や志」の実現に向けて具体的な目標をもっている生徒
- ③ より高い目標達成に向け具体的で実現可能な計画を作成することができる生徒
- ④ より高い目標達成のため各教科等の授業に主体的に取り組むことができる生徒
- ⑤ より高い目標達成のため諸活動に主体的に取り組むことができる生徒
- ⑥ より高い目標達成のため家庭学習に主体的に取り組むことができる生徒